

「令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果公表について

1 概要

文部科学省が、10月29日（水）17：00に、「令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果を公表したことに伴い、本市の結果とその認識について報告するもの。

2 本市の結果

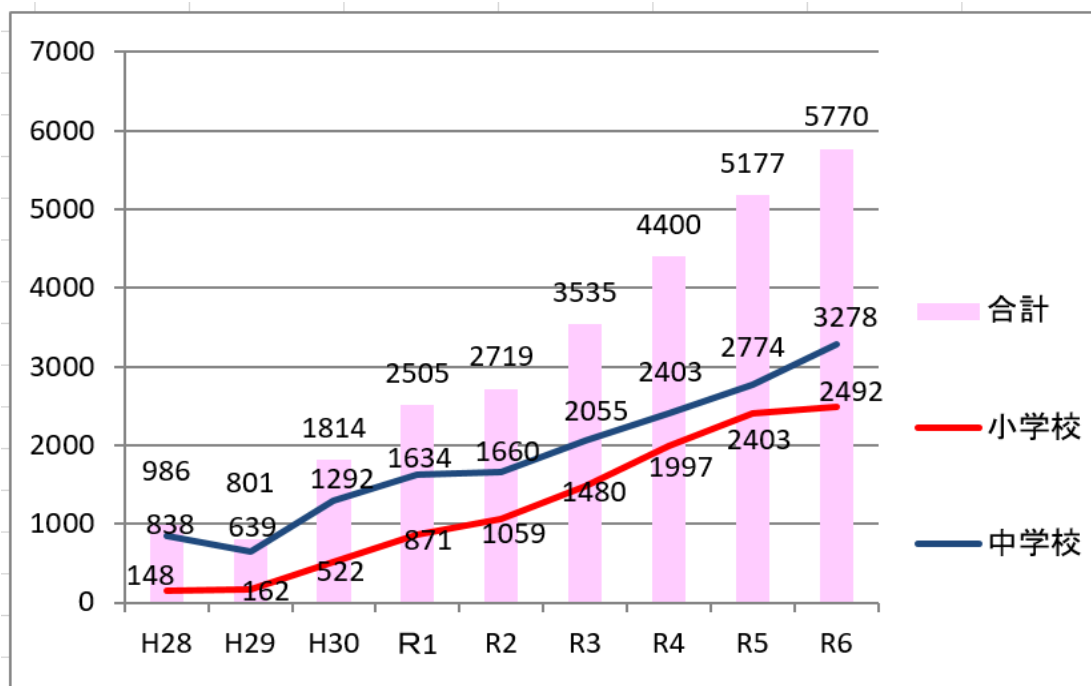
(1) いじめ（各校種のいじめ認知件数）（件）

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計
全国 (前年比)	610,612 (+21,682)	135,865 (+13,162)	18,891 (+1,280)	3,654 (+330)	769,022 (+36,454)
1,000人比	101.9	42.6	5.9	23.8	61.3
福岡県 (前年比)	15,870 (+2,805)	3,599 (+187)	729 (+63)	47 (+7)	20,245 (+3,062)
1,000人比	—	—	—	—	36.7
福岡市 (前年比)	3,753 (+610)	629 (+109)	8 (-11)	1 (-2)	4,391 (+706)
1,000人比	45.3	16.1	2.2	0.5	34.5

(2) 不登校（人）

		不登校		
		小学校	中学校	合計
全国	在籍数 (前年比)	5,994,493 (-105,787)	3,186,476 (-34,487)	9,180,969 (-140,274)
	件数	137,704	216,266	353,970
	前年比	+7,334	+154	(+7,488)
	1,000人比	23.0	67.9	38.6
福岡市	在籍数 (前年比)	82,719 (-124)	39,042 (+290)	121,761 (+166)
	件数	2,492	3,278	5,770
	前年比	+89	+504	(+593)
	1,000人比	30.1	83.8	47.3

福岡市の不登校の推移



不登校児童生徒について把握した事実（福岡市）

主な区分（複数回答可）	小学校		中学校	
学校生活に対してやる気が出ない等の相談	983 件	39.4%	1,282 件	39.1%
生活リズムの不調に関する相談	663 件	26.6%	961 件	29.3%
不安・抑うつ等の相談	537 件	21.5%	797 件	24.3%
親子の関わり方に関する問題の情報や相談	486 件	19.5%	378 件	11.5%
学業の不振や頻繁な宿題の未提出が見られた	248 件	10.0%	572 件	17.4%

3 増加の要因分析

- (1) いじめ 各学校でいじめの定義や積極的な認知に対する理解が広がったことや、アンケートや教育相談の充実などによりいじめを認知しやすくなったため。
- (2) 不登校
 - ①教育機会確保法の趣旨が浸透したことに加え、コロナ禍以降の保護者や児童生徒の意識の変化があったため。
 - ②特別な支援を必要とする児童生徒に対する早期からの適切な指導・支援に課題があったため。
 - ③生活リズムの不調を抱える児童生徒に対する指導・支援に係る課題があったため。